

新型コロナウイルス感染症
拡大防止に向けて

2022.4.14

唐津市立浜玉中学校

国内の感染者数（1日ごと）推移

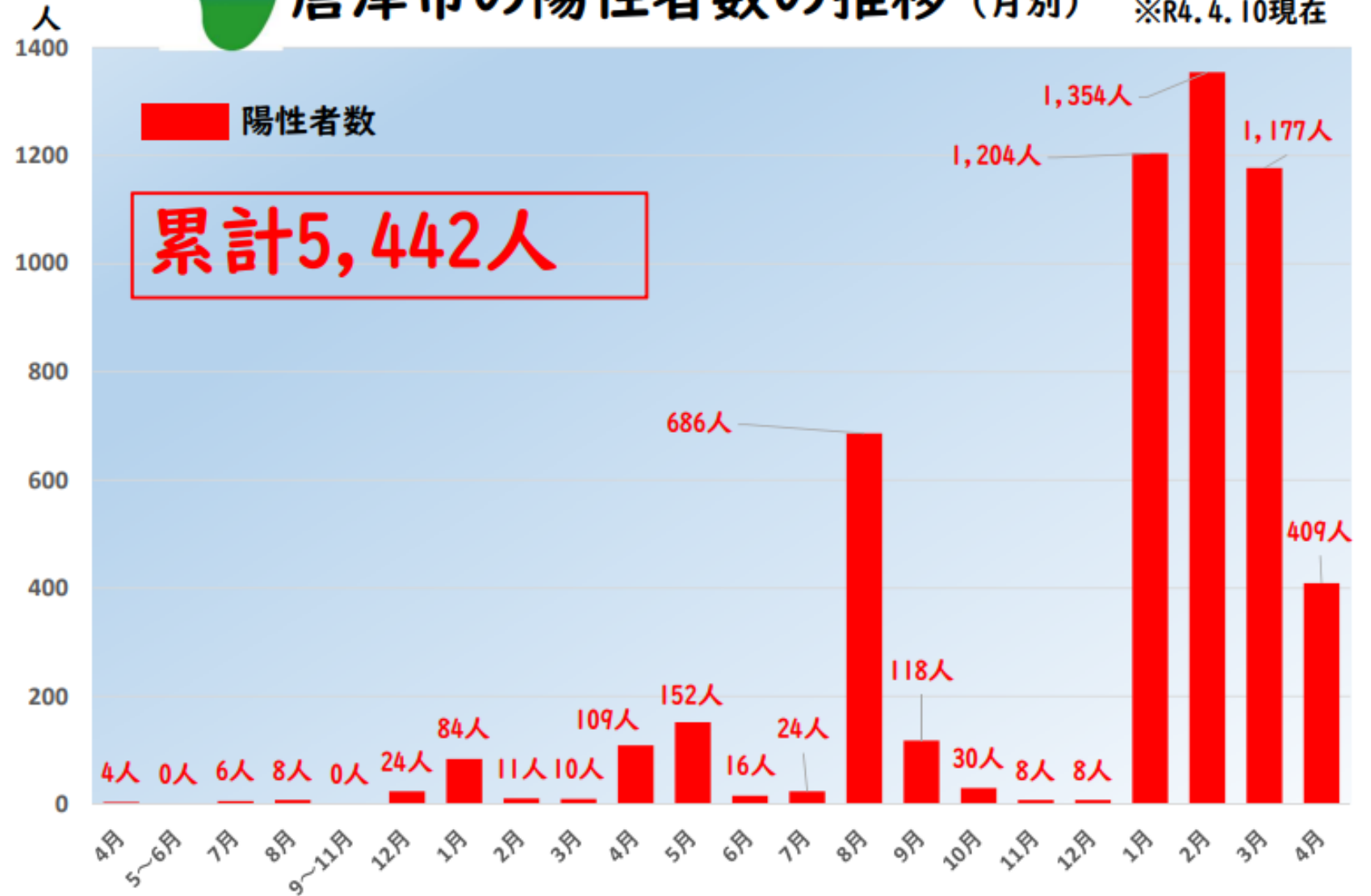


唐津市の感染者数（1月ごと）推移



COVID-19

唐津市の陽性者数の推移（月別） ※R4.4.10現在



1日あたりの
感染者数最多



2022/2/2
87人

ウイルスが体に侵入する経路

新型コロナウイルスは、1と2、特に2の飛沫感染が多い

① 接触感染（直接触れる）

② 飛沫感染（咳やくしゃみ）

※ シールドは、顔よりも30 cm高いものを設置する

③ 空気感染（空気中を漂う）

※ マイクロ飛沫やエアロゾルと呼ばれるごく小さな飛沫で感染する

※ 20分間空気中を漂うので、こまめな換気が必要となる

新型コロナウイルス（変異株）の

種類

※ コロナウイルスは、ギリシャ文字で発生した順に名称が付けられる

※ 遺伝子をコピーする過程で一部読み違いや組み換えが起こり、遺伝情報が一部変化
「突然変異」

1

α （英） β （南アメリカ） γ （ブラジル） δ デルタ（インド）

2020.12月

2020.12月

2021.1月

2020.10月

2

ϵ イプシロン（米） θ シータ（フィリピン） κ カッパ（インド）

3

λ ラムダ（ペルー） μ ミュー（コロンビア）

4

\omicron オミクロン（南アフリカ）

2021.11月

現在主流のコロナウイルス 「オミクロン株」の種類

① BA.1 ⇒ 第6波で主流だった

※ 2021年12月下旬に市中感染が確認されてから、数週間後の2022年1月中旬には、それまでのデルタ株からほぼ置き換わった。

② BA.2 ⇒ 第7波で主流になる

※ 「BA.2」は2月中旬に東京都で市中感染が確認され、「BA.1」より感染力が強い
※ 「BA.1」に感染した人でも「BA.2」に感染する可能性がある

③ XE ⇒ 新たな変異ウイルス

※ イギリスで確認された複数のウイルスが組み合わさったもので「BA.2」より感染力が強い
※ 2022年4月11日に成田空港の検疫で、国内で初めて確認された

オミクロン株に感染した際に見られる症状

(国立感染症研究所「HER-SYS」のデータより 1月24日時点)

発熱	66.6%
せき	41.6%
全身のけん怠感	22.5%
頭痛	21.1%
せき以外の呼吸器症状	12.9%
吐き気やおう吐	2.7%
下痢	2.3%
嗅覚障害や味覚障害	0.8%



嗅覚障害や味覚障害を訴えた人は
0.8%

特定の環境下で**高い感染力**！

- 歌う、**大声**を出す
- マスク**なし**の会話
- 狭い空間での**密接**

WITH コロナ の時代

- ※ 100年に一度の規模、間違いなく長期にわたることが予想される
- ※ 元の生活様式には戻れない

・ マスクは、服と同じ

- ※ 基本的に着ける生活 **不織布のマスクを**
- ※ 飛沫を飛ばさない、鼻や口を触らない

・ 換気は、回数 を多く

- ※ 対角線上で2方向を開ける
- ※ 常時、10CM程度開けておく

・ 手洗い ・ 消毒は丁寧に

- ※ 外出から戻ったとき、食事の前

本校における今後の感染症対策について

① 基本的な感染症対策の継続

- ※ 小まめな手洗いと消毒、検温、マスク着用、机上シールドの設置、給食の黙食
- ※ 3密（密閉、密集、密接）を防ぐ工夫

② 健康観察の継続

- ※ 家庭での検温と健康観察
- ※ 一人一台タブレット端末による記録

③ 教育活動は状況を見ながら実施

- ※ ペア・グループ学習は、感染対策を行った上で実施

タブレット端末の活用について

① 健康観察の記録

※ 毎朝、簡単なアンケートにチェックしていく



② 授業での活用

- ※ 授業資料の受取や提出
- ※ 小テストやアンケートの回答

③ 自宅での活用

※ ドリル学習など

一人一台タブレット端末は、
R4年度から持ち帰り可能と
なりました

※ 同意書の提出が必要

ウイルスの潜伏期間と感染力

5 ~ 6 日

(オミクロン株は、2 ~ 3 日程度)



発症

発症もしくは陽性が確認されてから
10日間 (7日間) の自宅待機

7日前

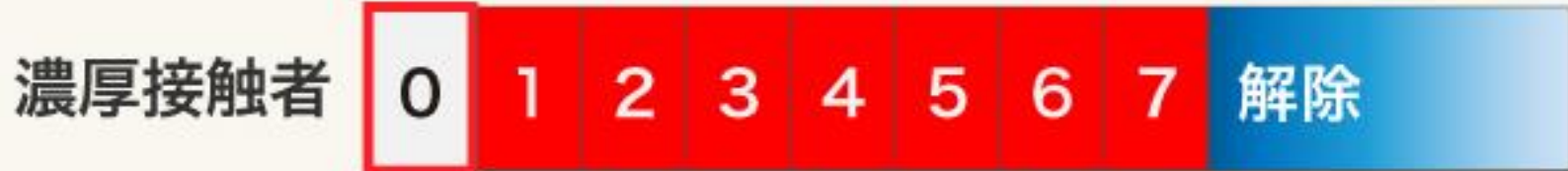
2日前

5日後

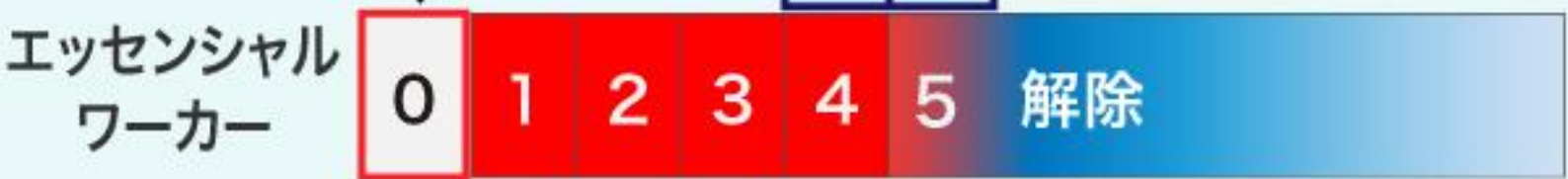
10日後

濃厚接触者の待機期間

濃厚接触者の待機期間 NHK



感染者と最後に接触した日



濃厚接触者の待機期間

子どもが感染した場合

NHK

軽症



子どもが感染した場合

NHK

無症状



感染者と接触した際に、①～③に
すべて該当すると、

① マスクなし

② 1 m以内の距離 ⇒

**濃厚接触者
(要待機者)**

③ 15分以上の接触

- ※ 濃厚接触者（保健所が特定）は、PCR検査で陰性であっても、7日間の隔離
- ※ 要待機者（学校等が特定）は、PCR検査で陰性であっても、5日間の隔離
- ※ 発症日の2日前から、診断後に隔離などをされるまでの期間）に接触した者のうち、上記の範囲に該当する人

学級閉鎖になる場合

- ① 学級で複数の生徒が感染
- ② 学級で風邪の症状が何人もいる
- ③ 学校長が必要と判断した場合

- ※ 学年閉鎖...複数の学級閉鎖が出て、学年内の感染拡大の可能性が高い場合
- ※ 全学年閉鎖...複数の学年を閉鎖し、学校内で感染拡大の可能性が高い場合
- ※ オンライン授業を実施した場合は、オンライン授業日扱いとします

治療は？

① 治療薬 ⇒ **決定的な薬はない**

軽症患者用の飲み薬「ラゲブリオ（一般名モルヌピラビル）」や中等症以上の患者用の「レムデシビル」など

② ワクチン ⇒ **接種可能**

重症化して入院するリスクを下げる効果は、発症を防ぐ効果より高くなっている

③ 後遺症 ⇒ **残ることもある**

感染を経験した10%から20%ほどで、けん怠感や息切れ、認知機能障害などの後遺症がみられ、「一般的に日常生活に影響を及ぼす」

学校生活で心がけること

1 新型コロナウイルス感染症の知識を備える

◎ どうやって感染する？

- ・ 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば）で感染
- ・ ドアノブなどに付着しているウイルスで感染

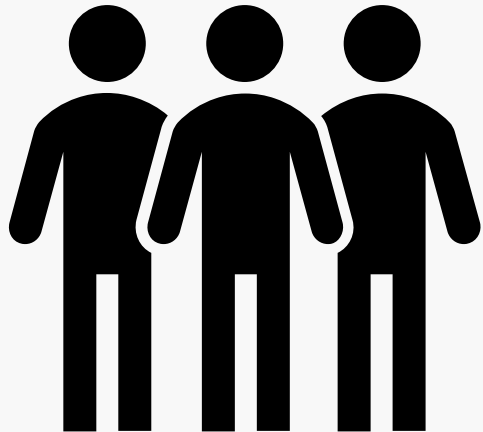
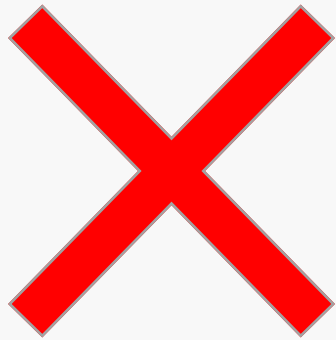
◎ 感染を防ぐには？

- ・ しっかりした手洗い（流水や石鹸で30秒間）
- ・ 十分な睡眠とバランスのよい食事

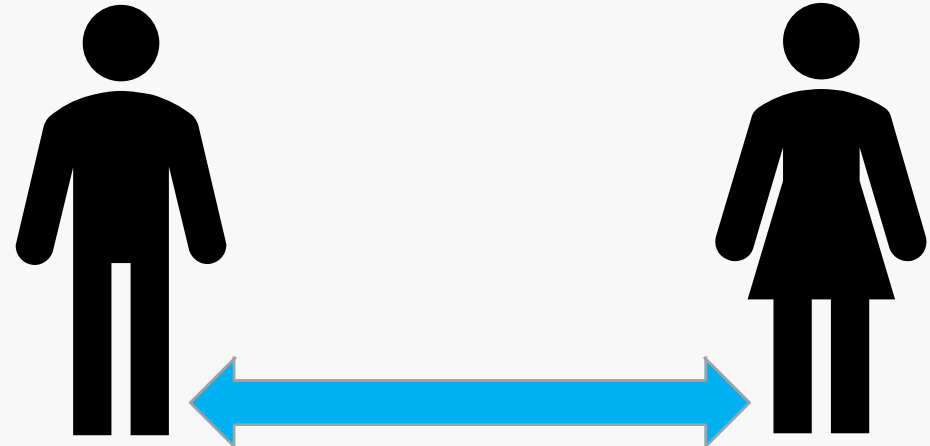
◎ 発熱や強いだるさを感じたら、すぐに家族・先生に伝える

学校生活で心がけること

- ② ソーシャルディスタンス（社会的距離）を広く



×密接・密集

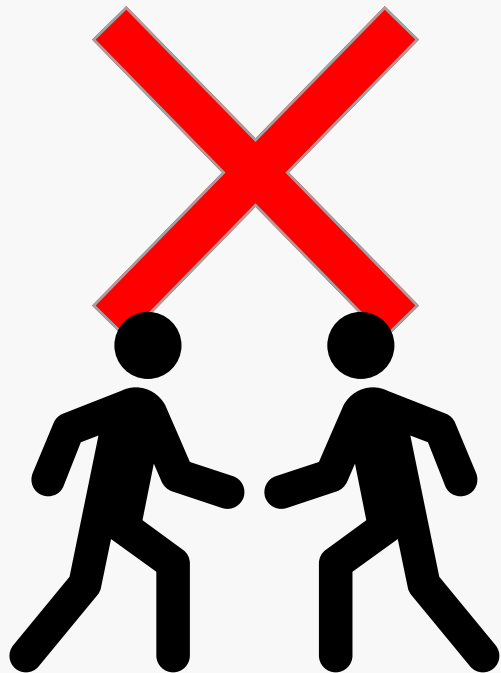


◎ 2 mの距離

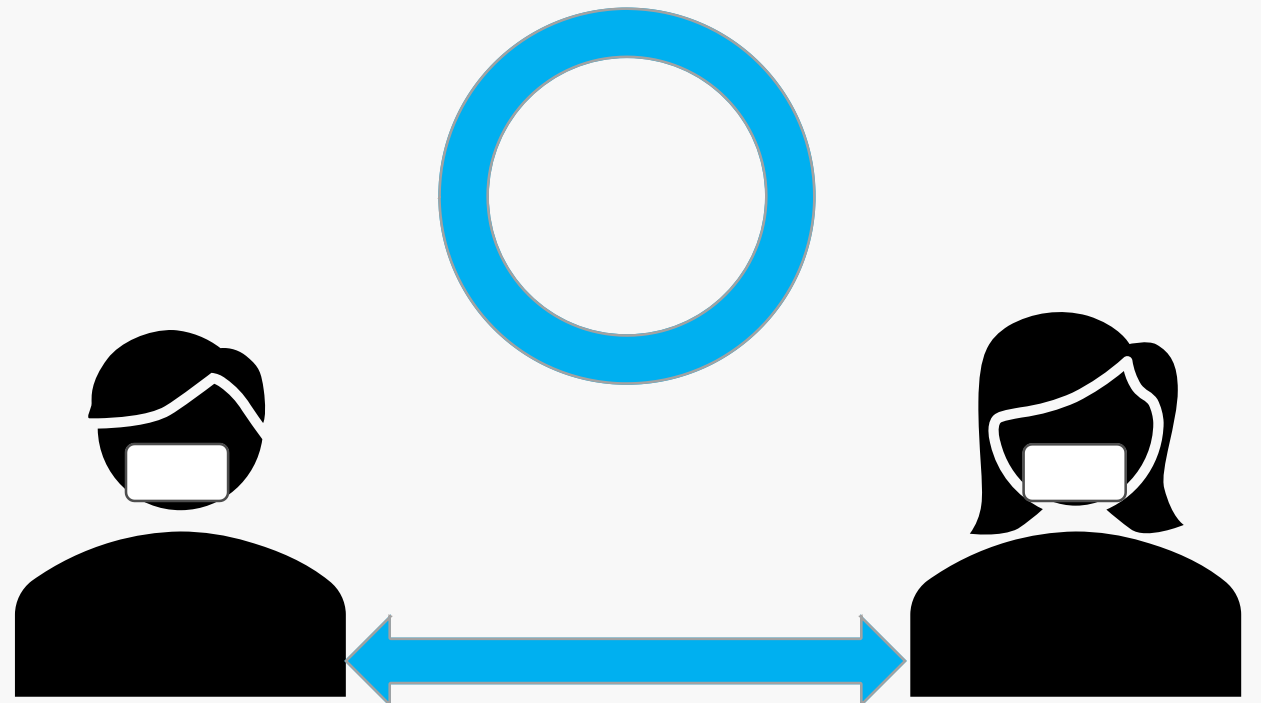
学校生活で心がけること

③ 近い距離で、**対面**で話さない

必ずマスクを着用して、お互い**横向き**で話す



×密接な対面



◎距離をとって**横向き**

学校生活で心がけること

4 個人の用具を使う

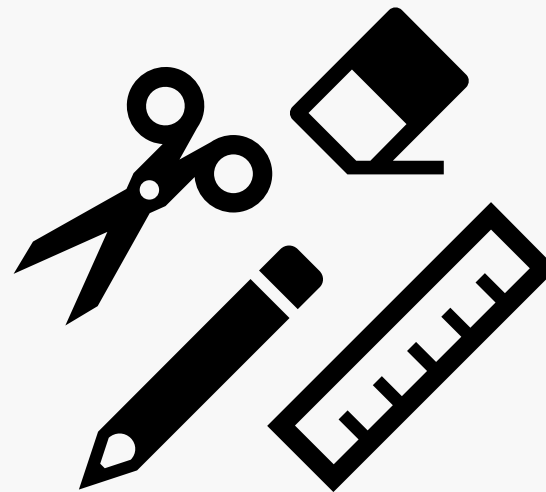
貸し借りをしない



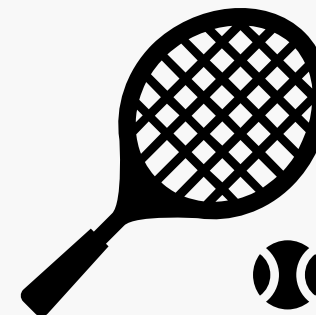
辞書



笛



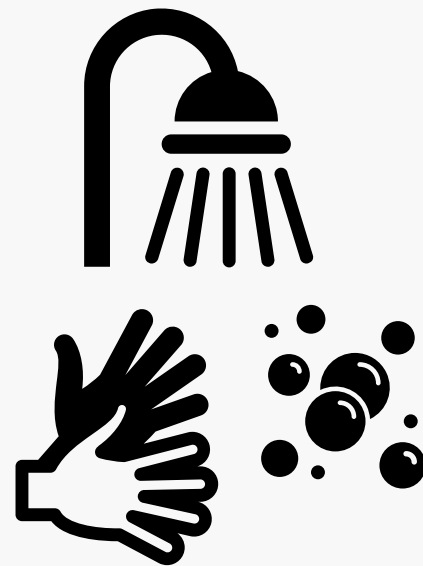
筆記用具



ラケット

学校生活で心がけること

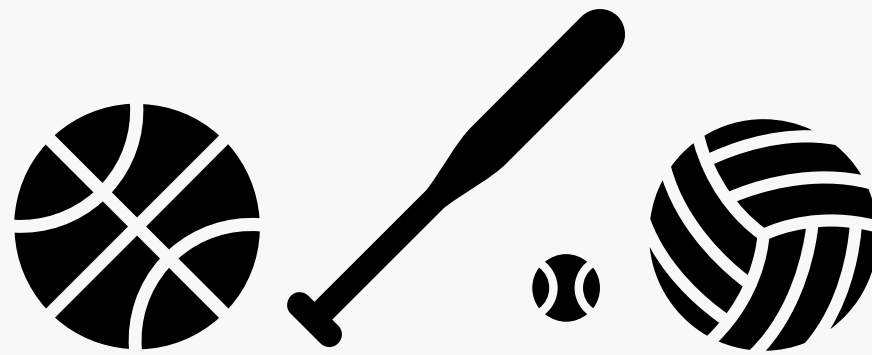
- ⑤ 共有用具をできるだけ使わない
使ったら、手指を**30秒**しっかり洗う
用具を**消毒**する



掃除用具



公衆電話



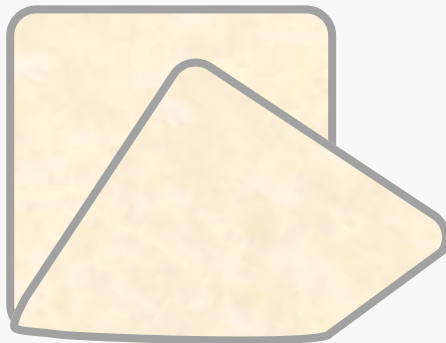
体育・部活動の用具

学校生活で心がけること

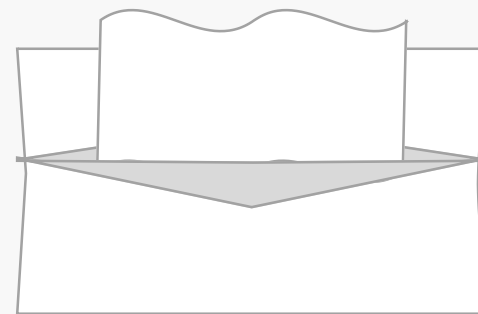
⑥ 各自が身に付けておくもの



マスク



ハンカチ



ポケットティッシュ

◎ マスクは、個人で準備すること ※不織布のマスクが望ましい

◎ マスクは、常に持っておくこと

※ マスクを忘れた場合は、職員室で速やかにマスクを購入してください。

オミクロン株への感染防止対策強化

①オミクロン株では従来株よりも強力

- ・ **短時間**のマスクなし会話
- ・ **換気が悪い空間**でのマスク越しの会話
で感染してしまう可能性

②不織布マスクの着用を！

飛沫のカット率	不織布	ウレタン	布
吐き出す飛沫	80%	50%	66～82%
吐き出される飛沫	70%	35～45%	30～40%

学校生活で心がけること

7 差別やいじめ等をしない

- ・ 新型コロナウイルス感染症を理由にした差別やいじめに限らず、差別やいじめをしない
- ・ 私たちの誰も、感染者や濃厚接触者となるおそれがあります
- ・ どの学校にも起こりえることです
- ・ 一人一人が気を付けて行動してください

感染症対策状況



公衆電話を使用した後は、除菌するよう指導



来校者名簿（状況によって連絡が必要のため）



来校者用除菌アルコール（スリッパ使用後等）



ソーシャルディスタンス指導（随所貼付）



登校時の除菌・検温セット



図書室入室時は除菌するよう指導



教室入室時は除菌するよう指導



機械室

3年生 被服室



2年生



感染症予防啓発ポスターを随所に掲示



校長講話での感染症予防指導



手洗い場のレバー式コック・除菌アルコール





図書室の感染予防デスクシールド



音楽室のデスクシールド



美術室のデスクシールド